

報道関係者各位
プレスリリース

2022/12/20
株式会社ジガー

社史を漫画で制作する専門サービス「社史漫画.com」を開始

～漫画コンテンツ制作会社が、分かりやすく面白い社史を作りたい！に応える～

株式会社ジガー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：高澤邦彦、以下 ジガー）は、社史漫画制作専門サービス「社史漫画.com」（web サイト： <https://shashi-manga.com/>）を開始しました。歴史資料としての社史だけでなく、「社員や取引先に対して自社の成り立ちや企業文化を伝えたい」との要望に対し、分かりやすく面白い漫画コンテンツによる社史作りで応えます。



社史漫画.com サイトイメージ

コロナ禍により社内継承が危ぶまれている

インターネット調査※1の結果、およそ3年におよぶコロナ禍における社内コミュニケーション量の減少に加え、「コロナ禍の後も飲み会の頻度は以前に比べて減ると思う」と答えた方はおよそ6割となりました。この間、社業を成長させてきた団塊世代が引退を迎え、企業の創業期、成長期の最前線で活躍してきた方々の経験や育まれた企業文化の継承が途絶えることを懸念する声が少なくありません。

そのため新入社員の社員教育や、新卒採用の現場において、どうにか自社の成り立ち、混沌とした創業期の社員たちの熱意を継承したいという要望があります。

若手の4割は漫画で社史を読みたいと考えている

そういった経営者、管理職サイドの思いの一方で、調査(※1)の結果、20代のおよそ半数にあたる47%の人もまた「社史は必要」と考えており、さらには44%の人は「自社の社史が漫画であること」を望んでいることが分かりました。

加えて、20-49歳の世代において、4割以上の人が「(自社、他社問わず)社史を漫画で読みたい」と回答しています。

継承したい世代と、知りたい世代を漫画でマッチングさせる

社史漫画.comでは、自社の成り立ちや企業文化を継承したい世代と、自分の会社をもっと知りたいという若い世代の想いを、漫画コンテンツでマッチングさせます。サイト内では、分かりやすく面白い社史にするためのコツや注意事項、制作工程の説明のほか、神奈川県立川崎図書館（webサイト：<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/>）にて公開されている過去の社史漫画の事例などを紹介します。

社史漫画の制作を希望される場合には、主な用途や目的、予算に応じた完成イメージのコンサルティング、専門ライターによる取材、シナリオの作成、また作画に関しては著名な漫画家をはじめとする数十名のネットワークされた漫画家の中から好みの画風（タッチ）をご提案するなど、企画から漫画制作～印刷・製本まで、ワンストップによるサービスを提供します。



株式会社ビームス・デザイン・コンサルタント社史「天下統一」p15

ビームス・デザイン・コンサルタントによるユーザーコメント

当社は、創業20周年を目前に創業社長である石橋が不慮の事故により倒れたことで、これまで全社を牽引してきた石橋の仕事に対する姿勢や社風そのものが失われる心配がありました。そこで、石橋に薫陶を得た社員それぞれのエピソードを漫画にし、社史という形にまとめることを考えました。ジガー様には企画から印刷・製本に至るまで足掛け2年間並走していただきました。特に時間をかけた取材、繰り返しの修正作業、最後の最後まで表現や誤字の確認といった丁寧な編集作業により、私どもにとって特別な一冊を作ることが出来ました。

課題であった石橋前社長の想いや社風の継承はもとより、社史を漫画にしたことで、若い社員たちにも浸透しやすく、一人一人の社員が当社の歴史の一部であることを実感してくれるようになったと感じています。今後は、これから入社してくる新入社員たちにも読んでもらいたいと考えています。

株式会社ビームス・デザイン・コンサルタント
専務取締役 田上 寿美子

今後の展開

社史漫画だけではなく、歴史資料としてのテキスト・写真を主とした従来の社史と漫画社史の合本といった形にも対応するよう、アライアンス先の拡充を図っております。また、組織的な漫画制作体制を構築。質の向上と制作期間の短縮にも対処することで年間30件の制作を目指します。

(※1) 株式会社ドゥ・ハウス my アンケートによる独自調査。22年9月実施、サンプル数190。

プレスリリースに関するお問合せ先

株式会社ジガーお問合せフォーム <https://jigger.jp/contact>

プレスリリース関連サイト

社史漫画.com ホームページ

<https://shashi-manga.com/>

株式会社ジガー

<https://jigger.jp/>